

チャレクジ



NO.25 2012 . 10

発行者 特定非営利活動法人 チャレンジド ステーション クジラ
〒196-0003 東京都昭島市松原町3-6-7 アートヒルズ 105

事業所 TEL/FAX 042-569-6433

法人:TEL/FAX 042-542-7288

E-mail shurou-kujira@9jira.com

URL <http://www.9jira.com>



■ 障害者虐待の防止障害者の養護者に対する支援等に関する法律が施行されました

平成23年6月17日成立、同24日公布された障害者虐待防止法が平成24年10月1日から施行されました。

この法律の虐待を受ける「障害者」として定義しているのは、障害者基本法にある身体障害、知的障害、精神障害を負う人で、虐待の種類を「身体的虐待」「性的虐待」「心理的虐待」「放置」「経済的虐待」の5分類としています。また、虐待の起こる場所を家庭内に限定せず、福祉施設や職場にも想定し、虐待を行う者として、養護者の他、福祉施設の職員や職場の上司等も想定範囲に含めた対策の必要性が明記されました。

更に、虐待問題は虐待者と被虐待者の関係だけにとどまるものでなく、社会全体で共有すべきという視点から、虐待を発見した国民には市町村や都道府県に通報する義務を課しています。また、国と地方公共団体は、障害者虐待の防止、養護者への支援を進める義務を負うとされています。

通報を受けた市町村は、被害者の生命に関わる重大な危険があると判断した場合、家族の許可がなくても家庭内に立ち入って調査することができ、福祉施設での虐待については、都道府県が調査の上、指導してその状況と対応を公表する。職場での虐待は、市町村または都道府県から労働局に報告し、調査・指導の上実態を公表するとされています。これに伴い、全ての自治体に「市町村虐待防止センター」が設置され、都道府県には「都道府県権利擁護センター」が置かれます。

この法律の基本は、「防止」です。普段から家庭や福祉事務所、就労先の人たちとコミュニケーションを良くし、みんなが、相手を大切にすると人権感覚を常に持つことが大事です。(クジラでは、いつでも相談にのりますので、遠慮なく相談してください。)

■ 障害者政策委員会が発足(7/23)

この障害者政策委員会は、昨年の7月に改正された障害者基本法に基づき、以前の「中央障害者施策推進協議会」と「障がい者制度改革推進会議」を統合整理し、今後の障害者政策の議論の場として、7/23 野田総理も出席し開催されました。「新たな障害者基本計画の在り方の検討」と「差別禁止法」部会を軸に議論がされます。

すでに、8/20では、障害者基本法の条文を6グループに分け小委員会の議論に入っています。第二グループが・年金等(障害者基本法\$15)・職業相談等(障害者基本法\$18)・雇用の促進等(障害者基本法\$19)の議論を行っています。今後の制度、政策の基本ですので、動向を注視していく必要があります。

■ 最低賃金が改訂されました(2012/10/1~)

最低賃金が改訂されました。東京は前年の837円から13円アップして850円となります。

一般就労をしている利用者さんで賃金が時給850円を下回る方はクジラへご相談下さい。

今回のリレーコラムは東電ハミングワーク株式会社
園芸事業部の日比野様よりご寄稿いただきました。

リレーコラム

東電ハミングワーク株式会社
園芸事業部 日比野好紀

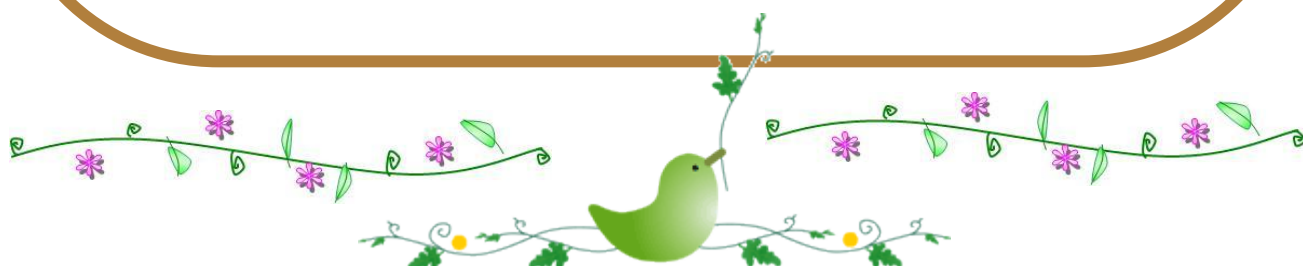
平成 20 年に東京電力の特例子会社として、日野を本社として印刷事業部、清掃事業部、園芸事業部があり、新橋の東京電力本店内に本店事業部としてビジネスサポート、メールセンターがあります。私は園芸事業部に所属し、指導者 4 名スタッフ 16 名で構成され東京電力の花壇植替え及び維持管理が主たる業務内容です。

園芸作業では、花の種を播くことから始まり 苗の生長に合わせて、手を掛け愛情を注ぎ花を育てていきます。そのような園芸作業にスタッフが毎日汗をかきながら、一生懸命に管理をしています。業務上、細かい作業や単純な作業、集中力や技術が必要な作業があったりと様々です。16 名が皆一通り出来ますが、技術力は個々に違うので、指導者である私たちが各スタッフに合わせた指導方法や工夫をして対応をしています。

また、指導者全員が障害者として差別をしない指導、個人の作業レベルの向上と思いやりの持てる社会人として成長させていくことを常に意識して指導にあたっています。しかし、それぞれに個性や特性が異なるので、指導方法も変えながら理解するまで根気良く繰り返し行っています。そして、私たちの心の力となっているのが支援センターの存在です。「くじら」さまのご担当者さんとの連携があつてこそ、次に繋がるスタッフの成長や私たちの指導の糧になっております。スタッフが目標を立てそれに向かって取り組む姿勢を励まし、成長できたときは指導員冥利につける瞬間でもあります。

《山頂へ登る道が決して輝かしくなくても一点の曇りもないその場所に向かうことこそ輝かしい。自分を鍛えその道を登り続けることが素晴らしいこと。日々、成長する花を愛しみ楽しむように心の純粹の花が知恵と思いやりと愛を開いていく姿を見守っていきたい。》

私は、この言葉を胸に情熱をもって取り組みスタッフの更なる成長を願い、指導に精進していきたいと思っております。今後とも「くじら」さまのご支援を宜しくお願い致します。



利用者の方から

僕は、一昨年の 11 月に、チャレンジステーションクジラを通じ、日本郵政の特例子会社に就職させて頂きました。今の仕事の内容は、小さいビニール袋の中に、郵貯銀行の商業紙幣とキャンディー3 個を入れる仕事などを、させて頂いています。

僕がチャレンジステーションクジラと知り合ったのは今から、約二年半前の事でした。僕は、軽度の発達障害と不安障害を持っており、昔から人とコミュニケーションを取るのが苦手でした。以前の僕は、就労支援センターを通していなかったために、仕事の面接に行っても、何時も落とされたり、仕事が決まっても人間関係で躓き、長く続かなくとても困っていましたが、市役所の福祉課に相談した所、「そういう事なら、チャレンジステーションクジラがありますよ」と言われ、その時にクジラさんの存在を知り、クジラさんと出会いました。クジラさんの所へ、初めて行った時は、「いったいどんな所なんだろう」と少し、不安感はありませんでしたが、とても優しく対応してくれて、親身になって相談にも応じてくれて、とても安心しました。今の職場は、障害を持っている人が多い職場なので、悩むことも多いですが、クジラさんに相談に応じてもらいながら、楽しく働いています。

僕は、今の会社に入社してから、早くも二年経とうとしています。入社してからの二年間は楽しいと感じる事もあれば、辛いと感じる事もある二年間でした。楽しいと感じる時は、今の職場で仕事をしている時です。今の仕事内容は、とても自分に合っていて、仕事中はプライベートで嫌なことがあっても、忘れられる位今の仕事は楽しいです。辛いと感じる時は、やはり人間関係で躓いた時です。でも、ここ最近では、「人間なんて皆、山あり谷ありなんだぞ」と、自分に言い聞かせて、乗り越えています。昔の自分では考えられない位、気持ちの切り替えが、今の会社に入社させて頂いてから、早くなりました。これも、やはり良い会社を紹介して下さい、クジラさんのおかげだと思っています。

今後も、今の会社で仕事を続けられるように、クジラさんにサポートしてもらいながら、頑張っていきたいと思っています。

宮田直樹

就労をしている皆さまが会社の帰りや休日に事業所へ気軽に相談できるように「ナイトサポートとホリデーサポート」を行っております。



ナイトサポート (17:15~21:00)	ホリデーサポート (10:00~16:00)
10月5日 金曜日	10月21日 日曜日
11月2日 金曜日	11月18日 日曜日
12月2日(日)はクリスマス会です。 ホリデーサポートとナイトサポートはありません。	
1月11日 金曜日	1月20日 日曜日

年末年始のお休みは 12月29日~1月3日までです。

加納正 障害者雇用の見聞録



昔と今 変わったもの 変わらぬもの 変えてはいけないもの

品川宿、ここは古くは、東海道五十三次お江戸日本橋から、最初の宿場町。

以前、東海道新幹線の新たな停車駅となった時、「なぜ新横浜と東京の間で停車駅の設置が」と思ったものです。

でも、品川は古くから、そして、現在も人と経済の交差している所というのが実感です。品川駅の「駅ナカ」ではいろいろなお店があり、朝の時間帯では、「卵かけごはん」をかきこんでいるサラリーマン風のイケメン青年、ハンバーガーを食べながらお化粧に夢中のギャル、颯爽と歩くキャリアウーマン風の彼女。昔であれば、旅籠での朝の風景か。古今東西、働く人の生活は同じか。

赤いシンボルカラーで「速い電車」と言われている京急電車と反対側に向かうと、新幹線乗り場の改札、さらに進むと駅前のデッキに出る。道路に下りず、駅前のビル群が林立する中、デッキを歩いて、目的のビルに向かう。現代の建築、土木技術のすごさに、江戸時代の弥次さん喜多さんが見たらびっくりするのでは。

今回は、「東京スカイツリー」の建造にかかわった、株式会社大林組の本社ビルへお邪魔しました。

平成24年5月現在、全国の特例子会社は349社となっています。ここ数年、障害者雇用の特例子会社は増加をしています。今回の訪問先である株式会社大林組の特例子会社「オーク・フレンドリーサービス株式会社」は、創設されたのが平成14年5月で、特例子会社としては早くからの取組と歴史、障害者雇用のノウハウを構築されている会社です。前担当部長のN氏は、10年以上前から、地域(神奈川 城東 城南)の企業連絡会には必ず参加され、コソコソと職域の拡大、障害者の雇用管理等に取り組まれていたことを思い出します。

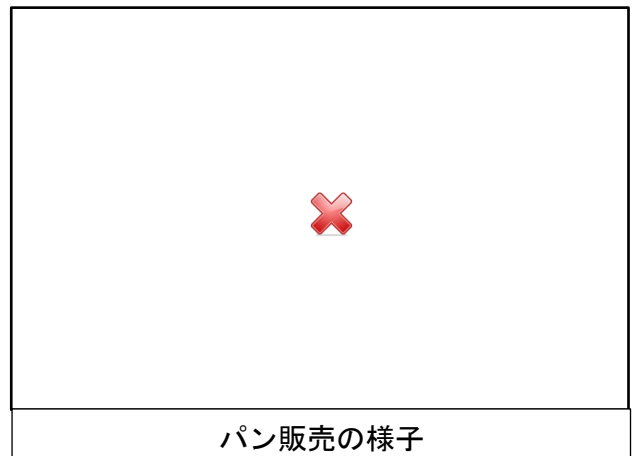
しかし、特例子会社のデメリットとして、障害者雇用が特例子会社任せになりがちであったり、同じ仕事の継続だけだったり、懸念されるところです。マンネリを打破し、採算の取れる事業や職域拡大が活性化のポイントでしょうか。

■ オーク・フレンドリーサービス株式会社

オーク・フレンドリーサービス株式会社は100%、株式会社大林組の出資で創設され、本社は墨田区で、10人のメンバーと管理スタッフが働いております。そのほか、今回お邪魔した、品川事業所(港区)、技術研究所、大阪、名古屋、四国等の事業所で障害者が働いており、今後「雇用率2%時代」を意識した働く場の創出に取り組んでいます。各事業場はオーク・フレンドリーサービス株式会社のブランチとして雇用しています。

また、品川事業所(港区)は、株式会社大林組ビル内であり、見学の途中のエレベーターでは株式会社大林組の副社長や専務とばったり遭遇しました。すかさずN課長さん「今日はパンの日ですからよろしく」と本社役員に売り込みをする。株式会社大林組の副社長や専務も普段から理解していただいているようで…。

凄い～と言うか。会社の名前のとおり、フレンドリー～と言うか。本社の役員に「障害者と一緒に働いていることを、見て、感じて、理解してもらう」このことを普段からやってるのか。なるほど、ここに職域拡大のヒントがあるのか。江戸時代の弥次さん喜多さんが見たら、「たいーしたもんだ、城代家老に町奉行がものを申し上げていぜ」となるのかも。



パン販売の様子





コピーセンターの様子

オーク・フレンドリーサービス株式会社では、仕事の種類は事務補助、清掃、メール便配送、印刷、シュレッダー、用紙関連、食堂清掃、パン販売などとなっています。従業員は約 70 名(うち障害者 50 名)となっています。品川事業所(港区)では 30 名の従業員(障害者 23 名)が働いています。

当日は 2 班に分かれて、見学をさせていただきました。移動して感じたのは、高層ビルでエレベーターでの移動がなかなか難しいのと、建物の構造が迷路のようになっていて、方向が分からなくなりそうで、なんとか迷子にならないように付いて行きました。

最初の見学は、「事務補助」チームの職場でした。「事務補助」チームは本社人事部の脇に事務室があり、いくつかの班別で作業を行っています。親会社の事務補助として、名刺のデーター入力、各種資料の発送、資料の PDF 化、シュレッダー作業などです。他社ではあまり汎用化されていない仕事では、「リユース事業」「ペットボトルのキャップ回収」「緊急備蓄品の管理」などがあります。いろいろな企業で各社のコンセプトを伺うと CSR と障害者雇用、環境にやさしくエコ、ダイバーシティ(恥ずかしい話、数年前までお台場の一角の都市かなと勘違いしていた私ですが…)と回答は多いのですが、障害者の職域拡大と環境にやさしい、無駄をなくす取組が、ここに「リユース事業」としてありました。

人事異動の多い職場の経験からすると、人事異動で自分の使っていた文具、ファイルを業務引き継ぎで後任者に渡すのは気が引け、庶務課に新しいものを一式用意させて、今までのものは、部下に渡し、更にまだ使える文具がロッカー等にごっそり残っている。大企業ではバカにならない金額が無駄にされてしまう。土木や建築の業界では、数か月や数年の有期の現場事務所も多い。それらを全部まとめ、きれいに整備して、新品の様にして再配布する。まるで、企業内の文具売店の様です。東日本震災後には、社内にあった置き傘をまとめ、1,000 本被災地へ贈ったりして、大きく社会貢献しています。障害者の働くことが、企業のエコ活動や無駄削減の司令塔や要だったり、さらには、企業の社会貢献の促進役となっています。

この他、コピーセンターで、コピーと製本を担当している 10 年選手は、「インデックスをそこまで几帳面に」と思うほど丁寧で確実な仕事が評判になっています。メールセンターは、ビル全体がシステム化されたコンテナ(小型)を稼働させ、仕分けをし、各地域への発送を担当しています。さらに、毎週火曜日は地域の作業所のパン 200 個を仕入、社員食堂の前で販売して、社員とも顔なじみです。前述の副社長も上得意様かな。

特例子会社設立から 10 年いろいろなご苦労を伺いました。当初、マッサージ室もありましたが、現在は廃止し、隣にメンバーの休憩室がありました。その窓からは、東京タワーと東京スカイツリーが同じ方向にはっきり並んで見えます。良いものを継承し、常に新しいものに挑戦する、業界のトップの企業風土が伝わってきました。(文責 加納 正)



リユースの一部



報告 6月～9月



- 6月 8日 ナイトサポート
- 6月 17日 ホリデーサポート
- 6月 22日 平成 24 年度第一回東京都障害者就労支援関係機関意見交換会出席
【東京都率中央・城北職業能力開発センター】
- 6月 26日 平成 24 年度第 1 回保護者向けセミナー「障害年金と働くうえでの法律のおはなし」参加
【東京しごとセンター5 階セミナー室】
- 6月 27日 地域支援会議出席【昭島市役所会議室】
- 6月 29日 多摩地域就労支援事業連絡会出席【立川市 柴崎学習館】
- 7月 3日 第 11 回東京都障害者就労支援協議会傍聴【東京都庁第 2 本庁舎 31 階特別会議室 21】
- 7月 6日 ナイトサポート
- 7月 15日 ホリデーサポート
- 7月 20日 平成 24 年度第 1 回障害者雇用連絡会議【ハローワーク立川】
- 7月 26日 昭島市障害者福祉ネットワーク定例会出席【昭島市保健福祉センターあいぽく】
- 8月 1日 地域支援会議出席【日出町役場】
- 8月 3日 八王子盲学校就労ガイダンス【昭島市障害者就労支援センタークジラ】
- 8月 20日 市議会議員来訪【昭島市障害者就労支援センタークジラ】
- 8月 22日 K 企業特例子会社設立説明会参加【リフレフォーラム 1 階会議室】
- 8月 23日 地域支援会議打ち合わせ【昭島市障害者就労支援センタークジラ】
- 8月 24日 多摩地域就労支援事業連絡会出席【立川市民会館 アミュー】
- 8月 29日 地域支援会議出席【昭島市役所会議室】
- 8月 30日 就労支援課題別セミナー参加【東京障害者職業センター会議室】
- 9月 7日 ナイトサポート
- 9月 16日 ホリデーサポート
- 9月 19日 昭島市障害者福祉ネットワーク臨時総会・定例会出席【昭島市保健福祉センターあいぽく】
- 9月 20日 地域支援会議打ち合わせ【昭島市障害者就労支援センタークジラ】
- 9月 26日 地域支援会議打ち合わせ出席【昭島市役所会議室】
- 9月 27日 昭島市障害者福祉ネットワークプロジェクト打ち合わせ出席【昭島市保健福祉センターあいぽく】

NPO 法人 チャレンジドステーションクジラ賛助会について

NPO 法人 チャレンジドステーションクジラ賛助会へ多数のご協力をいただきましてありがとうございます。今後も一層の努力をして参りますので宜しくお願いいたします。

賛助会は随時受け付けております

年	会	費	1 口 2, 000円
連	絡	先	042 (542) 7288 お振込みの場合は下記までお願いいたします。
振	込	先	青梅信用金庫昭島支店
普通口座	店番		015 口座番号 0711599

特定非営利活動法人 チャレンジド ステーション クジラ 理事 東 條 芳 男

編集後記 【ロンドンパラリンピック】

ロンドンパラリンピックは9月9日（日本時間10日）、閉会式が行われ、12日間にわたる熱戦に幕が下ろされました。ロンドンへ行けない私はテレビの前で大声を上げて応援をしていました。さすが発祥の地、多くの観客で会場が埋め尽くされていることに、英国国民の障害者スポーツへの関心の高さが視えました。「パラリンピックの父」とされている神経医学者のルートヴィヒ・グットマン博士は『It's ability, not disability, that counts.』（※失われたものをかぞえるな、残っているものを最大限に生かせ）という言葉を残したとされています。選手の皆様一人ひとり持てるすべての力を発揮して、私たちに勇気と感動を与えてくださいました。ありがとうございました。8年後は日本の会場で声援を送れることを願っております。そして日本選手を取り巻く様々な環境が向上されることを願っております。（東條）

